

建築技術

平成19年3月1日発行(毎月1日発行)
No.686 ISSN0222-9711

高強度コンクリートの 施工技術の現状

The Kenchiku Gijutsu
<http://www.k-gijutsu.co.jp>
2007 March No.686

RC系を中心とした各種用途建物の耐震補強の現状
再生コンクリートの活用法

architectural design

いわき平競輪

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

建築工事監理指針

平成16年版

(上巻)

6章 コンクリート工事 431

(iv) 打込み式コーン (図6.9.16参照)

打込み式コーンは、防水機能をもたせたコーンであり、従来のコーンと異なり腐材が生じないのが特長である。

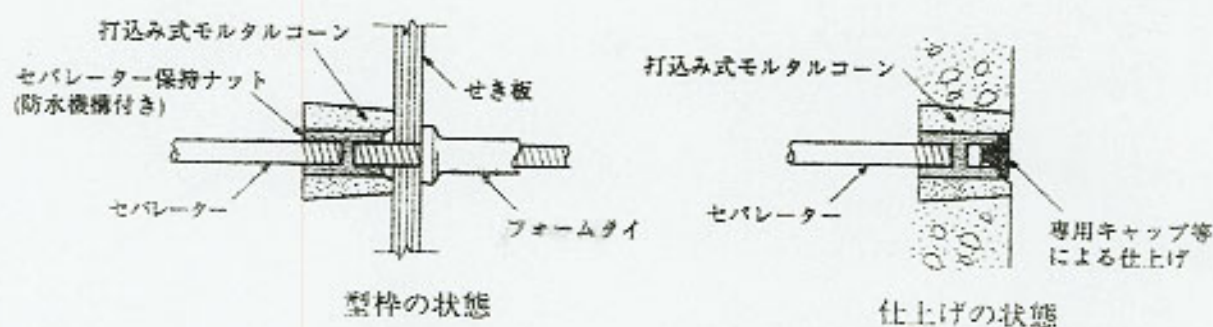


図6.9.16 打込み式コーンの例

アイエスティー

型枠保持材を拡販

コスト4割削減可能

建材のベンチャー企業、アイエスティー（東京都中央区）は、ビル建設などでコンクリートを打設する際に型枠をとめる保持材（eコーン）「eコーン」の本格的な拡販に乗り出す。この製品は一般のeコーンに比べ、仕上げなどを含めた一

体化型 コスト4割削減可能
コンクリートの工費を約四割削減でき、工期短縮も図れる。同社は、広くセネコン（総合建設会社）などに採用を提案し、今年は昨年実績の二倍の五百万個、来年以降はさらに倍増の一千万個の販売を見込んでいる。

同社は「eコーン」を独自に開発、昨年から大手セネコンを中心に販売している。建設現場では、型枠に取り付け、打設コンクリートに埋め込む形で使用する。超高性能コンクリート製で、特殊添加剤（アモルファスシリカ）を配合しているため、コンクリートと一

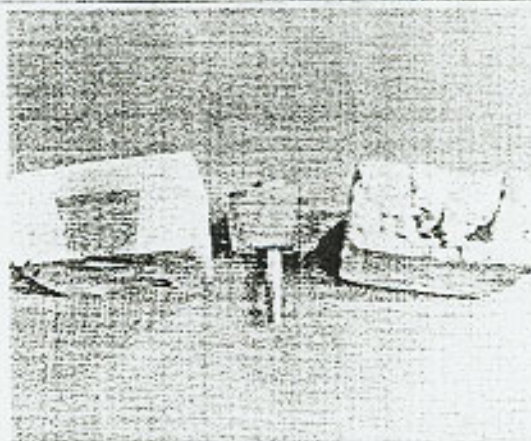
体化し、耐候性、耐久性を高められるという。一般のeコーンはプラスチック製で、型枠を外した後にコンクリートから抜き取り、コンクリート表面にできる穴をモルタルで埋めねばならない。モルタルで穴を完全に埋めることは難しく、すき

間から水が入ってコンクリートを劣化させる原因となっている。また、三、五回の使用が可能なが、最終的には産業廃棄物として

処理する必要がある。環境面の問題もある。eコーンはコンクリートに埋め込むため、モルタルによる穴埋め作業が不要で、産業廃棄物も

でない。eコーンの一個あたりの価格は六十円と、プラスチック製の四円に比べ割高。しかし、モルタルによる穴埋め仕上げなどを省いた一般的な工事では、一ヶあたり、プラスチック製を使うと約百十二円かかるが、eコーンでは約七十円ですみ、トータルコストを約四割削減できると同社は試算している。

通常の工事でeコーンは一平方メートルあたり四十六個使われており、国内市場は年間二、三億個とみられている。



「eコーン」を使ったコンクリートの断面にはすき間がある。右はプラスチック製の断面を比較したところ、eコーン製はすき間がない。

2005(平成16)年 E刊17956号

3/17 [金]



一部100円

月額3150円

Fuji Sankei Business 1.

フジサンケイ ビジネスライフ

本社 〒100-8125
東京都千代田区千代田1-1-2
TEL 03-3231-7111
FAX 03-3231-7111
大田支店 〒105-8564
東京都大田区東大田2-1-57
TEL 03-6633-1221
FAX 03-6633-1221



491085131760 0095